

平成24年度

# 学 校 評 価 書

黒部市立前沢小学校



# I 教育目標及び学校運営の方針、学校評価計画

## 1 学校教育目標

豊かな心とたくましい実践力をもった子どもの育成

○具体目標（育てたい子ども像）

- ・よく考え工夫する子
- ・仲良く励み合う子
- ・元気でがんばりぬく子

## 2 本年度の重点目標

- ・自分の考えをもち、仲間と学び合う子どもの育成
- ・互いの違いやよさを認め、励まし助け合う子どもの育成
- ・体力づくりや健康な生活習慣づくりに進んで取り組む子どもの育成

## 3 学校運営の方針

### (1) 学校教育の充実

#### ① 確かな学力の育成

- ・学ぶ意欲の向上と基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図る指導の工夫
- ・思考力・判断力・表現力を育てる「話す・聞く」「書く」等の言語活動の充実
- ・少人数学級を生かし、一人一人に応じたきめの細かい指導の充実
- ・「学び合い」と「体験」を生かした学習活動の展開
- ・学習規律の定着と生徒指導の機能を生かした授業づくり

#### ② 豊かな心の育成

- ・「いのちの教育」を核とした道徳教育や体験活動の推進
- ・児童会の「しあわせ運動」（親切、安全、挨拶、整理整頓）、ボランティア活動の充実、縦割り班活動等の異学年交流の推進
- ・自尊感情を育み、互いの違いやよさを認め合い、励まし助け合う温かい人間関係づくり

#### ③ 健康・安全の指導の充実

- ・運動の日常化や運動意欲と体力の向上を図る体育的諸活動の充実
- ・健康な生活習慣や望ましい食習慣を身に付け、自らの生活をよりよくしようとする態度の育成
- ・自他の生命を尊重し、自ら安全に行動する能力や態度を育てる指導の工夫

### (2) 家庭・地域社会との連携

#### ① 家庭や地域社会の信頼に応える学校づくり

- ・各種たよりやホームページによる情報発信、学校教育活動の公開、アクションプラン・学校評価の充実
- ・地域の教育力（人、もの、こと）の積極的な活用
- ・地域の防犯パトロール隊等と連携した地域ぐるみの安全支援体制づくり

#### ② 異校種（保育所、中学校）との連携の充実

### (3) 現職研修

#### ① 各種調査・検査や評価を生かし、授業研究や互見授業を中心として、授業力向上を図る校内研修の充実

#### ② 校内研修や校務分掌等における目標や課題の設定と実践、評価、指導の改善

#### ③ OJTを踏まえた日々の職務を通じた研修の推進

## 4 学校評価計画

### (1) 目標

学校教育目標の実現に向けて、教育活動全般について客観的・総合的に評価し、学校教育の改善・充実を図る。

### (2) 評価の方法

#### ① 教職員による内部評価

##### ア 学校運営に関する評価

- ・教職員による内部評価は教育計画の評価欄を活用し、学期ごとに振り返り学校改善に役立てる。
- ・「とやま型学校評価システム(アクションプラン)」について評価し、学校改善に生かす。

##### イ 学級運営に関する評価

- ・学級担任が学級運営方針に基づいて、学期ごとに成果と課題を明らかにし、改善に役立てる。

##### ウ 校務分掌部会による評価

- ・毎月、3部会に分かれて行事等を振り返り、次の行事等に生かす。
- ・各行事等の終了後に、よかった点や改善点について意見を集約する。

#### ② 自己申告・自己評価等による教員評価

ア 「自己申告・自己評価」を核として、教員の資質向上と学校の活性化を図ることを目指す。

イ 校長との面談を通して、教職員一人一人の目標を明確にして1年間の教育活動を実践する。

#### ③ 児童による評価

ア 学校生活全般にかかわるアンケートを実施し、評価に生かす。(年2回実施)

#### ④ 保護者による評価

ア アクションプランにかかわるアンケートを実施し、評価に生かす。(年2回実施)

イ 学校行事の際にアンケートを実施し、評価に生かす。(学習参観等開催時)

#### ⑤ 学校評議員による外部評価

ア 学校評議員会を学期に1回程度開き、学校運営全体について意見を交換し、学校改善に生かす。

### (3) 評価計画

月	内 容
4・5	・学校評価に関する計画作成 ・「とやま型学校評価システム(アクションプラン)」の重点課題の検討 ・アクションプランの公表 ・自己申告・自己評価の目標設定
6・7	・1学期末自己評価の実施 ・児童、保護者へのアンケート実施 ・学校評議員会の開催
9・10	・アクションプラン中間評価と改善
11・12	・学校評議員会の開催 ・2学期末自己評価の実施 ・中間自己申告・自己評価と見直し
1・2	・児童、保護者へのアンケート実施 ・年度末自己評価の実施 ・自己申告・自己評価のまとめ
3	・学校評議員会の開催 ・評価結果の分析と次年度への方向付け ・評価結果の公表

#### (4) 前沢小学校アクションプラン

##### ① とやま型学校評価システム3つの観点

- ・ 学校の教育重点目標をもとに、課題を設定し、分かりやすい数値で表す。
- ・ 外部評価（学校評議員等）を実施する。
- ・ 重点課題、数値目標及び評価結果を公表する。

##### ② 学校評価の取り組み

#### 信頼される学校づくり・開かれた学校づくり

PLAN(前年度の成果や課題を踏まえた行動目標、計画の策定)

- ①本年度の学校教育目標、重点項目の策定(4月)
- ②目標達成のためのアクションプラン(課題、数値目標、方策)決定
- ③アクションプランの公表(4月目標、5月詳細な取組)

DO(計画に基づいた実践)

CHECK(実践評価を行いながら、行動目標や計画の検証・修正)

- ①前期自己評価・外部評価の実施(7月) 改善策を探る(9月)
- ②後期自己評価・外部評価の実施(1月)改善策や次年度への課題を探る(2月)

ACTION(評価と検証・分析の公表、改善策の実践)

- ①評価結果を公表する
- ②改善策を実施する

家庭、地域社会（保護者や地域）への説得力

## Ⅱ アクションプランの取組

### 1 アクションプランについて

本校では、「信頼される学校づくり・開かれた学校づくり」を実現するため、とやま型学校評価システムに基づき、以下の3つの観点を挙げて、「前沢小学校アクションプラン」を策定し、取組を進めてきた。

#### とやま型学校評価システムの3つの観点

- ① 学校の教育重点目標をもとに、課題を設定し、分かりやすい数値で表す。
- ② 外部評価（学校評議員等）を実施する。
- ③ 重点課題、数値目標及び評価結果を公表する。

年度当初に、学校評価委員会を開催し、学習指導、生徒指導、健康・体力づくりの3つの重点項目ごとに、それぞれ、読書の習慣化、あいさつの習慣化、運動の日常化の重点課題を設定し、具体的な数値目標を掲げ、アクションプランの実践を進めてきた。

また、それらの設定や取組の実態を、学校評議員会で報告するとともに、学期ごとに進捗を評価し、取組の見直しを行った。さらに、アクションプランを学校ホームページや学校だよりで公開し、保護者や家族、地域の方々にも理解していただけるよう努めてきた。

評価については、学校評議員等の意見や保護者を対象に行った学校評価アンケート、校内で行った取組への評価などをもとに、1年間の実践のまとめとして、それぞれのアクションプランごとに次のようにとりまとめ、学校ホームページ「前沢小学校ウェブサイト」<http://www.tym.ed.jp/sc23/>で公開し、学校だより「弘麗」平成24年3月19日号で特集し、保護者並びに地域の方々に配布を行った。

## 2 アクションプラン各項目のまとめと評価

評価 A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持 D：現状より悪化

アクションプラン 1			
重点項目	学習指導	重点課題	読書の習慣化
達成目標	年間の学年読書目標を達成した児童の割合が80%以上を目指す。		
現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書タイムの定着により、本に親しむ児童が増えている。低学年は、朝の読書タイムの読み聞かせを楽しみにしている。</li> <li>・平成23年度は、年間の全校達成率は80%だったが、1、2、3学期とも目標を達成した児童は26人(38%)だった。目標の何倍もの読書量の児童が多く見られる一方で、なかなか読書量が増えない児童もあり、個人差が大きい。また、校内読書週間がある2学期は目標を達成した児童が多いが、3学期は目標に達しない児童が見られた。各学年で、学期の目標を見直す必要がある。</li> </ul>		
方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低学年は冊数、中、高学年はページ数で年間の読書目標を立てる。</li> <li>・週2回、火・金曜日の業前活動として読書タイムを設け、本に親しむ時間を確保する。</li> <li>・教師や学校図書館活動推進員、児童相互におすすめの本を紹介したり、読み聞かせやブックトークを積極的に取り入れたりすることで、読書への意欲を高める。</li> <li>・家庭学習（自主学習）において、音読や読書に取り組む機会を増やす。また、読書強調週間を設け、家族や親子で読書を楽しむ「家読（うちどく）」などの実践を呼びかける。</li> <li>・図書委員会が、おすすめの本の紹介やクイズ、多読賞の表彰を行い、互いに励まし合いながら意欲を高める。</li> <li>・学級文庫を月ごとに入れ替える、市立図書館から教科書に関連する図書をまとめて借りる、学級にテーマを絞った本のコーナーを作るなど、教室の読書環境を整える。</li> <li>・学校図書館活動推進員の協力を得て、図書室に「新刊コーナー」や季節や行事、学習内容に合わせた本を紹介するコーナーを設けるなど、多様な読書に親しめる環境を整える。</li> </ul>		
評価者	自己評価（教職員） 学校関係者評価（学校評議員） アンケート（児童・保護者）		
公開の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1、3学期の学級懇談会で保護者に知らせる。</li> <li>・学校だよりやホームページで地域に知らせる。</li> </ul>		
達成度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間の学年読書目標を達成した児童の割合は、83%であった。</li> <li>・目標をはるかに超えた児童が多く見られたが、冬休みから3学期の読書量が少なく目標に達しない児童もいた。学校ではよく読書しているが、家庭での読書量が少ない児童も見られる。</li> </ul>		

<p>具体的な 取組状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・火、金曜日の朝活動に読書タイムを設定した。</li> <li>・学級文庫を月ごとに入れ替えたり、市立図書館から図書をまとめて借りて読書の時間に読んだり、学級に本のコーナーをつくったりするなど、教室の読書環境を整えた。</li> <li>・古い本の廃棄、新刊本の購入、児童が本を手に取りたくなる「おすすめのコーナー」づくりなど、積極的に図書の充実や環境整備を行った。また、情報センターとしての活用や子どもたちが居心地のよい図書室づくりを進めた。</li> <li>・子どもたちが相互に励まし合って本を読む習慣付けをしようと、児童会図書委員会で多読賞の表彰をしたり、おすすめの本を紹介したりした。</li> <li>・校内読書週間や長期休業などに、家庭での読書「家読（うちどく）」を勧めた。図書だよりやリーフレット「家読のススメ」などを発行し、家庭への働きかけ、連携した取組に努めた。</li> <li>・専門的な知識を有する学校図書館活動推進員の指導を得て、子どもたちにとって居心地のよい場所になるよう学校図書館の環境整備を行った。また、学校図書館活動推進員による定期的な読み聞かせを行っている。</li> </ul>	
<p>評価</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書好きの児童は多く、年間を通した読書目標達成率は83%だった。学年読書目標の何倍もの読書量の児童も見られた。</li> <li>・家庭での読書をさらに啓発し、児童の読書環境を整えたい。</li> </ul>
<p>外部評価者の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家読については、なかなか成果に結び付いていない。取組方法を工夫して、改善の方向を見出して欲しい。</li> </ul>	

<p>アクションプラン 2</p>			
<p>重点項目</p>	<p>生徒指導</p>	<p>重点課題</p>	<p>あいさつの習慣化</p>
<p>達成目標</p>	<p>児童アンケート及び保護者アンケートのあいさつにかかわる、良い項目全体の平均がいずれも達成率80%以上を目指す。</p>		
<p>現状</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「おはよう」や「さようなら」のあいさつを自分から進んで言う児童の割合は多いが、まだ声が小さい児童もいる。平成23年度の児童の自己評価では、「大きな声であいさつする」の達成率は76%、「自分から進んであいさつする」の達成率は87%だった。</li> <li>・児童アンケートでは、「登下校の途中で出会った人にあいさつする」の達成率は91%となるなど、地域の人や来客にあいさつすることが定着してきている。</li> <li>・保護者のアンケートでは、「おはよう」「おやすみ」などの家庭内でのあいさつには向上傾向が見られる。</li> </ul>		



<p>方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「しあわせ運動」の「わ」の運動として、児童会を中心にあいさつ運動に取り組む。大きな声であいさつする「あいさつ名人」の紹介や表彰を行う。</li> <li>・児童会活動として、定期的にあいさつ強調週間を設け、あいさつボランティアを募集し児童玄関前で子どもたち相互に呼びかけ合う「あいさつ運動」を進める。また、期間中は重点項目を設定し、カードや表などを用いた評価活動を行う。</li> <li>・あいさつをされたら元気にあいさつを返す「あいさつ返し」を習慣付ける。</li> <li>・家庭との連携を図り、家庭内で明るくあいさつを交わし合う習慣をもつよう呼びかける。</li> </ul>	
<p>評価者</p>	<p>自己評価（教職員） 学校関係者評価（学校評議員） アンケート（児童・保護者）</p>	
<p>公開の方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1、3学期の学級懇談会で保護者に知らせる。</li> <li>・ 学校だよりやホームページで地域に知らせる。</li> </ul>	
<p>達成度</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年度のあいさつにかかわる項目全体の平均は、児童アンケート(9項目)で91%、保護者アンケート(8項目)では87%であった。</li> <li>・昨年度と比べると、児童、保護者ともに達成率が上昇している。また、前期と比べても後期に達成度が上昇しており、あいさつに対する意識が高まっている。</li> <li>・「おはよう、おやすみ」や「いただきます、ごちそうさま」といった日常のあいさつに関わる項目が、児童、保護者ともに、90%以上の達成度となり、家庭での基本的なあいさつ習慣が定着していることが伺える。</li> <li>・「自分から進んであいさつをする」の項目も、児童、保護者ともに、90%以上という高い達成度となっている。</li> </ul>	
<p>具体的な 取組状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童会が中心となって全校に呼びかけ、「あいさつ運動」を継続して行った。「あいさつボランティア」の募集に対して、たくさんの児童が「あいさつ運動」に参加した。</li> <li>・あいさつ強調週間を設定し、評価カードを活用して元気よくあいさつする意識を高めた。また、毎朝のあいさつの様子や給食時の報告や、「あいさつ名人」の紹介を行い、児童が励まし合い、取組への意欲を高めた。</li> <li>・「あいさつじゃんけん」や「あいさつゾーン」といった、児童のアイデアを生かした取組を進め、児童による自主的な活動を進めた。</li> </ul>	
<p>評価</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「あいさつ運動」の多様な取組の工夫で、あいさつの習慣が身に付いた児童が増えた。</li> <li>・自分からあいさつすることは定着したが、あいさつに元気がないと感じられることも少なくない。元気にあいさつできるようにしたい。</li> <li>・教室内や家庭内でのあいさつはかなり向上している。日常的にあいさつで声を掛け合えるようにしていきたい。</li> </ul>
<p>外部評価者の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域でも家庭でもあいさつは大変よいと感じている。特に、卒業生も含めてしっかりとしたあいさつができるのは継続した指導の成果だと思われる。今後も継続して取り組んで欲しい。</li> <li>・ 子どもたち同士の励ましや工夫がよい成果につながっていると考えられる。</li> </ul>	

アクションプラン 3			
重点項目	健康・体力づくり	重点課題	運動の日常化
達成目標	11月末までに「みんなでチャレンジ3015」の1回目を達成した児童の割合が90%以上を目指す。		
現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ少年団や習いごと等で、生活に運動する機会をもつ習慣がついている児童と、運動をあまり好まない児童とに二分されている傾向がある。</li> <li>・「みんなでチャレンジ3015」の記録用紙を教室に掲示し、達成者にはバッジを渡す取組を行った。しかし、年間を通して「みんなでチャレンジ3015」への取組に対する意欲を継続させるのは難しかった。</li> <li>・平成23年度のスポーツテスト等の体力診断テストの結果では、全身敏捷性に優れているが、筋力や柔軟性に劣っていることが分かった。</li> </ul>		
方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「みんなでチャレンジ3015」の記録用紙を教室内に掲示し、記録するよう声をかける。また、健康委員会の児童が定期的に達成状況を全校に広めることで、達成への意欲が継続できるようにする。</li> <li>・「体力づくりコーナー」を設け、児童が気軽に自分の力試しをしたり、多様な動きに取り組んだりできるようにする。</li> <li>・冬期間には、「なわとびカード」を使って、意欲的になわ跳びの練習に取り組めるようにすることで運動の日常化を図る。</li> <li>・外部指導講師による実技指導や技能の高い児童の技を見る機会を設けることで、高い目当てをもって運動に取り組めるようにする。</li> </ul>		
評価者	自己評価（教職員） 学校関係者評価（学校評議員） アンケート（児童・保護者）		
公開の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1、3学期の学級懇談会で保護者に知らせる。</li> <li>・学校だよりやホームページで地域に知らせる。</li> </ul>		
達成度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11月末の「みんなでチャレンジ3015」の1回目の達成率は84%で、2月末の達成率は94%であった。</li> <li>・2月のアンケートで、体を動かすことが好きだと答えた児童が96%いた。</li> </ul>		
具体的な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「みんなでチャレンジ3015」の記録用紙を教室に掲示し、記録する時間を設けた。また、記録掲示板に達成状況を示したり、昼の放送で達成者の名前を紹介したりすることで、運動をしようとする意欲を高めるようにした。</li> <li>・業間活動の時間には、3分間走とチャレンジ活動を行った。チャレンジ活動では、低・中・高学年に分かれ、体力の向上を目指した運動を工夫して行った。雨天時には、体育館で、柔軟運動や「みんなでチャレンジ3015」の運動を行った。</li> <li>・冬期間には、「なわとびカード」を使い、記録掲示板に達成状況を掲</li> </ul>		

	<p>示することで、意欲的になわ跳びの練習に取り組むことができるようにした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「マッスルコーナー」を設け、握力や筋力を鍛えることができるようにした。また、冬期間には、なわ跳び練習ボードを設置し、二重跳びの練習が行えるようにした。</li> <li>・水泳指導、マット運動、スキーでは外部講師による指導を行い、運動能力の向上に努めた。</li> <li>・水泳記録会、持久走大会、なわとび大会を全校児童で行った。このことで、上学年の姿を下学年が目標とすることができた。なわとび名人集会では、上手な児童の跳び方を見ることで、難しい跳び方に挑戦する児童が増えたように、技能が高い子や上級生の様子を見て、取組の目標とし、向上への意欲を促した。</li> </ul>	
評価	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動をしても「みんなでチャレンジ3015」のカードへの記録をしていない児童がいると考えられる。毎日記録をするよう呼びかけたり、記録を促す手立てを工夫する必要がある。</li> <li>・運動が好きな児童が多く、体を動かして遊んだり運動に取り組んだりする姿が日常的に見られた。</li> </ul>
外部評価者の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとつの種目に偏らず、さまざまな運動に取り組むのはよいことと思う。記録の方法について工夫して、どの子も達成感がもてるよう見直して欲しい。</li> </ul>	

### 3 成果と課題

- ・アクションプラン1、2、3ともに、児童会活動で子どもたちがめあてを立てて、相互に励まし合いながら取組を進めた。
- ・本校の児童は、決められたことをしっかりと最後まで取り組む面があり、代表委員会や委員会活動などを通して話合いや全校への呼びかけ、実践へと手続きを明確にして、児童の発案を生かせる仕組みを作った。これによって、児童会活動が日常的に行われるようになり、活動の広がりによって児童の意識の高まりが見られた。
- ・アクションプランの取組が学校の教育活動全体に広範に関連することでひとつひとつの活動が効果的に機能するが、一方で、児童の取組と教師の働きかけ、計画的・意図的な指導体制の範疇が不明確になってくる部分があり、アクションプラン計画策定時に、構造的に活動の全体像を示しておくことが必要と考えられる。

読書の習慣化

年間の学年読書目標を達成した児童の割合80%以上。		達成数	達成率
1年	100冊	14	100%
2年	100冊	10	100%
3年	5000ページ	15	88%
4年	8000ページ	5	50%
5年	5000ページ	3	43%
6年	5000ページ	10	91%
全校	年間 達成目標値80%	57	83%
あいさつの習慣化			
児童アンケート及び保護者アンケートのあいさつにかかわる良い項目全体の平均がいずれも80%以上。		達成数	達成率
全校	児童アンケートのあいさつにかかわる項目全体(9項目)の平均がいずれも80%以上。	/	91%
全校	保護者アンケートのあいさつにかかわる項目(8項目)全体の平均がいずれも80%以上。		87%
運動の日常化			
11月末までに「みんなでチャレンジ3015」の1回目を達成した児童の割合90%以上を目指す。		達成数	達成率
1年	11月末までに「みんなでチャレンジ3015」の1回目の達成率90%以上。	13	93%
2年		10	100%
3年		12	71%
4年		10	100%
5年		6	86%
6年		7	64%
全校		達成目標値90%	58
1年	参考 2月末までに「みんなでチャレンジ3015」の1回目の達成率	14	100%
2年		10	100%
3年		15	88%
4年		10	100%
5年		7	100%
6年		9	82%
全校		達成目標値100%	65

### Ⅲ 学校運営・学校行事に関わる評価の取組

今年度は、豊かな心とたくましい実践力をもった子どもの育成の学校目標のもと、具体目標として、よく考え工夫する子、仲良く励み合う子、元気でがんばりぬく子を設定した。また、重点目標として、小規模校のよさを生かし、子ども一人一人を大切にする教育の推進を掲げ、立案された教育計画に基づき、取組み活動を進めてきた。

各学期ごとに、教育計画書の評価や見直しを行い、また、それぞれの学年（学級）では学級運営案に基づいて、取組の評価と見直しを行ってきた。

さらに、学校行事については、運営しながら具体的な改善策やより教育目標に近づける取組の工夫などを検討し、事後の課題を明確にしてきた。

【次ページより、年間の主な取組を掲載】

平成 25 年 3 月 4 日に開催された学校評議員会資料より

# 1 平成24年度の主な取組（学校行事等）

## 1 学期

月	学校行事等	P T A行事等	地域行事等
4月	通級指導（学習障害等）教室 開設 始業式 4 / 4 入学式 4 / 6 小教研学力調査（3～6年） 全国学力学習状況調査 春の交通安全教室（全校） 1年生歓迎集会 防犯パトロール隊出発式 学習参観 丸いも栽培（5年） 遠足（全学年）	総務委員会 総会・部会 学級懇談会 歓送迎会 防犯パトロール隊出発式 春の全国交通安全街頭指導	歓送迎会 防犯パトロール隊出発式 学校開放運営委員会 学童保育総会 公民館運営審議会
5月	家庭訪問 自転車練習・交通安全教室 （3～6年） 金環食観察会 5 / 21 市連合体育大会（5・6年） スポーツテスト 通学路緊急点検 サツマイモ栽培（～10月）	カンナの定植 労力奉仕 ヘチマハウス再建 カンナロード除草 （～10月） 砂場造成	カンナ定植
6月	宿泊学習（4・5年） 立山青少年自然の家 ふれあい給食会・よい歯の教 室 学校評議員会・民生委員懇談 会 プール清掃・プール開き 市美術館出前講座 上下水道見学（4年） さわやか運動 理科支援員（～11月） 教育実習（6年） ふれあい週間 保小連絡会	総務委員会 全体委員会 教育懇談会（合併説明会）	
7月	げんき教室（放課後子ども教 室）（～2月） 学びのアシスト（～2月） 水泳指導 着衣水泳 学習参観 避難訓練（地震火災） 市美術館出前授業 花壇コンクール プラネタリウム見学（4年）	学級懇談会 A E D講習会 プール監視協力 ふるさとのクリーン作戦 広報誌「年輪」103号発 行 児童クラブ親子宿泊	さかなつかみ大会 黒部福祉大会 （赤い羽根児童会表彰）

	学校評価アンケート（前期） 終業式 7/24 夏季休業 7/25～8/31 プール開放 カレーパーティー（保育所） 立山登山（6年） 室堂山荘 弥陀ヶ原・室堂 7/31～8/1		
--	---	--	--

## 2学期

月	学校行事等	P T A 行事等	地域行事等
8月	水泳記録会 根室訪問（霜野） 水泳記録会	労力奉仕 夏まつり協力	夏まつり
9月	始業式 9/3 夏休み作品展 教育実習（1年） 漢字計算大会 大運動会 9/15 創校記念日 9/20 市発明くふう展	秋の全国交通安全街頭指導 総務委員会 市児童クラブ大会	公民館運営審議会
10月	学校訪問研修会 10/4 稲刈り、丸いも掘り（5年） いもほり（保育所との交流） さわやか運動 チャレンジテスト 市音楽会（5年、6年）演奏発表 校内読書週間 とやま元気っ子育成事業 ふるさと学習（4年） 学習参観（教養講座） クマ出没による下校指導 市科学作品展	教養講座 （大久保リナコ氏演奏会） 公民館祭り協力 初穂米の集荷 全体委員会	区民大運動会 市民体育大会 J A くらべ農業祭 ふるさと学習
11月	持久走大会 公民館まつり（3年） ふれあいフェスティバル 11/22 就学時健康診断 11/6 読書感想文発表会 市美術館出前授業 英会話科公開授業 学校給食とやまの日会食 幼小中美術展 学校給食訪問	校舎周辺樹木の伐採 カンナ掘り 労力奉仕	公民館まつり カンナ掘り 思考大会 少年少女実践意見発表 善行青少年表彰

12月	器械運動指導 桜井中学校訪問 市美術館出前授業 個別懇談会 コラーレ「クラシックのエントランス」アウトリーチコンサート 終業式 12/21 冬季休業 12/25～1/7	役員選考会 広報誌「年輪」104号発行	
-----	---	------------------------	--

### 3学期

月	学校行事等	PTA行事等	地域行事等
1月	保小連絡会 始業式 1/8 書き初め大会 1/9 共同募金贈呈式 年賀状抽選会 租税教室（6年） 学校評価アンケート（後期） 学校給食週間 スキー練習会（3～6年） 糸魚川シーサイドバレー 1/25 学校保健委員会「カルビー・スナックスクール」	スキー練習会協力 学校保健委員会	左義長 市成人式 黒部市年賀状展
2月	お茶会 学習参観・学級懇談会 中学校入学説明会 情報教育指導 チャレンジテスト ふれあい週間 なわとび大会 なわとび名人集会 新1年生交流会 ラジオミュー「僕の夢私の夢」収録 卒業会食 「食育だより」発行	支部・学級役員選出 総務委員会 全体委員会	キッズミュージアム展示 県小中高校生書初大会
3月	6年生を送る会 学校評議員会・民生委員懇談会 ラジオミュー「僕の夢私の夢」放送 「ぜんまい花」通巻51号発行 避難訓練（地震） 卒業祝品授与式 3/14 卒業記念品贈呈式 3/14	広報誌「年輪」105号発行 卒業祝品授与式	「僕の夢私の夢」放送 卒業祝品授与式（前沢青少年健全育成区民会議）



卒業証書授与式 3/19		
小中連絡会 3/21		
修了式 3/22		
学年末休業 3/25～31		

### 【児童会等活動】

- 「しあわせ」運動を展開
- 毎週火曜日は「チューズデー集会」年間25回
- 毎月最終金曜日は、代表委員会
- 不定期に「よびかけボランティア」活動
- 毎週木曜日は「アルミ缶回収」(回収活動：エコキャップ、書き損じはがき、使用済み切手等)
- 「あいさつ運動」は定時と強調期間
- 毎月7と8のつく日は、「花の日」
- 学期始めと終わりに、支部児童会
- 毎月1回「バースデー集会」

### 【そのほか】

- 栄養教諭を中核とした食育推進事業
- スクールバス運行业者 桜井交通 (バスも借り上げて運行)
- 毎月1、15日 交通街頭指導
- 毎月20日 安全点検
- 防犯パトロール隊 (毎週木曜日) 青パト巡回 (毎週月曜日)

### 【非常勤職員・外部講師等】

- 英会話科指導 (毎週水曜日) ALT JAT (英会話講師) : 3年生以上
- 食育会食 (毎週火曜日) 市学校給食センター 栄養教諭
- 通級指導 (本年度開設 : 毎週木曜日) 年度当初 3名 5月より 4名
- スタディメイト (月、火、金) 1名
- 学校図書館活動推進員 (毎週金曜日) 1名
- 理科支援員 (6月～11月) (毎週金曜日) 1名
- 学びのアシスト (7月～2月) (毎週水曜日) : プール監視員にも従事
- スポーツ人材活用 水泳指導、器械運動
- 特別非常勤講師 音楽指導、情報教育 (コンピュータ)
- 外部講師指導 スキー指導 (糸魚川スキー学校、地域講師)、立山登山ガイド
- スクールカウンセラー要請 (9月)
- 教育実習 (6月、9月それぞれ1名)
- 放課後子ども教室 (1～3年生対象、金曜日不定期年間10回実施)

## 平成24年度「栄養教諭を中核とした食育推進事業」について

文部科学省委託（委託先：富山県教育委員会 所管：スポーツ・保健課）

実施校：黒部市立前沢小学校（県内2校のうちのひとつ）

### 趣旨

- ・ 栄養教諭が、それぞれの立場や専門性を生かして、学校・家庭・地域に積極的に働きかける取組の中心となるよう促す。
- ・ 栄養教諭や給食主任が、学校・家庭・地域の人々と連携したり、地場産物を活用した食育推進の取組を行う。

### 活動内容

- ・ 啓発資料（食育だより）の配布（保護者配布 地区配布）
- ・ 講師を招いた教育講演会（食育講演会）の開催
  - ① ふれあい会食 PTA、生産者、学校給食センター職員
  - ② 学校保健委員会「カルビー・スナックスクール」 テーマ：おやつ
- ・ 栄養教諭を活用した食育活動（「食育会食」の実施、毎週火曜日）
- ・ 地場産生産者との交流学习（丸いも、米などの生産体験、りんご園見学）
- ・ 地域の食生活改善委員や食育リーダーとの連携（ふれあいフェスティバル）
- ・ とやまゲンキッズ作戦、「早寝・早起き、朝ご飯」、おやつアンケートの実施と分析
- ・ 地場産食材を使った学習（丸いも、りんごなど）
- ・ 市学校給食センター見学
- ・ 「早寝・早起き、朝ご飯」の取組
- ・ 学校給食週間の取組（会食、特別献立）
- ・ 校内研修会（健康・食育に関する授業実践、栄養教諭を活用した授業）
- ・ 食生活学習教材の活用（学校及び学校給食センターでの食育指導資料の購入）
- ・ 食育ボード（食育関連の掲示板）の設置
- ・ PTAとの連携
- ・ 親子で取り組む体験活動（学童保育でのうどん作り体験など）

## 2 学校行事についての主な改善点

- ・ 校外活動、学校外行事等については、教育活動のねらいを明確にして、より高い教育効果が図られるよう年間の見通しを立てた。
- ・ 教育活動の全面で、児童が主役になれるように計画段階から練り上げ、児童会活動と有効に連携させながら、児童の自主的・自発的活動を進めた。
- ・ 遠足、宿泊学習、立山登山、スキー学習は、実施学年について現在の形を継続する。それぞれの行事が効果的かつ安全に実施されるよう情報の収集や事前踏査、専門的な知識を有する指導者の助言や支援を得た。
- ・ 外部講師の要請については、より効果的な指導を受けられるよう、適時性や指導内容を検討した上で、年間の見通しを立て、実施時期が錯綜しないよう配慮した。
- ・ P T Aや地域等と連携し、それぞれの支援や協力を得ながら、児童の社会体験、交流体験活動として有効に活かせるよう指導に留意した。
- ・ 児童相互の競い合い、高め合う意識付けを促すため、大会などでは全校がそろって活動し、より高い目標や向上心を得られるよう活動内容や運営を工夫した。
- ・ 教育活動の中に、児童が表現を通して他と関わる場面を作ることで、他に働きかけ、自分の心情や考えを表現しようとする意欲を高め、実践の過程から表現する力を高めようとした。

## IV 自己申告・自己評価の取組

教員には、教育者としての使命感や子どもへの教育的愛情、実践的指導力などとともに、変化の激しい社会の動きや教育改革の理念に対応しながら、困難な教育課題の解決に積極的に取り組むことができる資質能力が求められている。また、児童、保護者、地域住民に対して学校教育の室を保証し、信頼される学校づくりを推進していくには、教員の一層の資質向上が不可欠である。さらに、学校が本来の機能を発揮しつつ、急速な時代の変化に対応していくためには、教員一人一人が資質能力の向上を図りながら、組織として取り組むことにより、学校全体の教育力向上を図ることが重要となってくる。

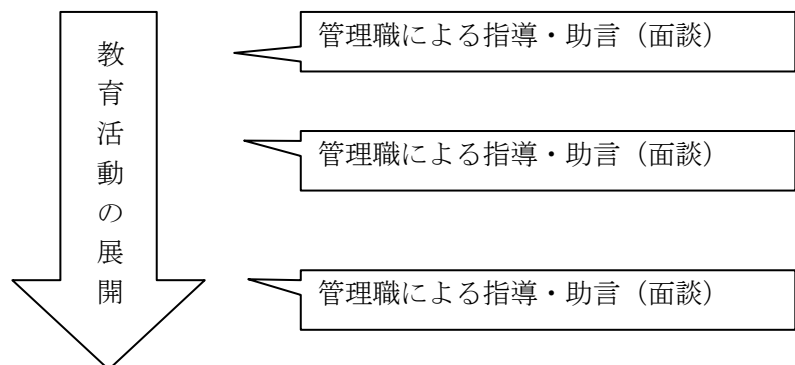
そのため、学校目標の実現に向け、個々の能力が組織の中で最大限に発揮され成果に結び付くよう個々の教員が目標管理を行う自己申告・自己評価を進めている。

自己申告・自己評価によって、教員自らが自己の意欲や職務遂行能力等を把握・評価し、自己研鑽や研究・修養に努める意欲が高まるよう、組織的な取組を進めている。

こうした取組により教員の資質向上や学校全体の教育力が高まることで、児童の学力向上や、「生きる力」の伸長、創造力豊かでたくましい子どもを育てることができると考えている。

### 【自己申告・自己評価の流れ】

- 自己目標の設定・申告
- 中間評価
  - ・ 目標の達成状況
  - ・ 自己評価
- 最終評価
  - ・ 目標達成状況や成果
  - ・ 自己評価



## V アンケートの結果と分析

### 1 アンケートの実施について

学校の取組について児童及び保護者への学校評価アンケートを、前期（7月）と後期（1月、集約2月）の2回実施し、教育活動の評価の参考としている。

アンケートの内容は、読書の習慣化、あいさつの習慣化、運動の日常化の3つのアクションプランにかかわる項目を中心に、児童アンケートでは学校生活や家庭生活について、また、保護者アンケートでは家庭での学習の様子についての項目を加え、生徒指導や学力向上への取り組みの実態把握を行っている。今年度は、食育などの学習規律や食育の取組と関連して、鉛筆やはしの持ち方についてアンケート項目を追加している。

さらに、年5回の学習参観（英会話科公開授業1回を含む）では、その都度、アンケートを実施し、参観者の感想などを集約し、教育活動に生かしている。

実施したアンケートの結果を集約して、教務、生徒指導、健康・安全の3部会で検討を加え、分析や今後の取組について、直近に発行する学校だより「弘麗」や学校ホームページ「前沢小学校ウェブサイト」<http://www.tym.ed.jp/sc23/>で公開している。

**【次ページより、以下のように結果と分析を掲載】**

- ・ 学校評価保護者アンケート報告

（平成24年7月実施、同年8月公開平成25年2月実施、同年2月公開）

- ・ 児童アンケート（平成24年7月、平成25年1月実施）

## 2 保護者アンケート

凡例 A：いつもしている B：だいたいしている  
 C：あまりしていない D：まったくしていない  
 判定 ◎ よく達成されている ○ おおむね達成されている  
 △ 不十分である × 取り組みの見直し

### (1) アンケートの結果

学校評価 保護者アンケート集計		前期(7月実施)			後期(2月実施)			
読書の習慣化		判定	A+B	C+D	傾向	判定	A+B	C+D
1	・子どもは、家でよく本を読んでいます。	△	45.6%	54.4%		△	51%	49%
2	・子どもは、分からないことがあったら本などで進んで調べています。	×	32.8%	67.2%	↑	△	50%	50%
3	・親子で本を読む時間をつくるようにしています。	×	20.9%	79.1%	↓	×	13%	87%
あいさつの習慣化		判定	A+B	C+D	傾向	判定	A+B	C+D
1	・子どもは、「おはよう」「おやすみ」のあいさつをしています。	◎	94.1%	5.9%	↑	◎	97%	3%
2	・子どもは、「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをしています。	◎	83.8%	16.2%	↑	◎	91%	9%
3	・子どもは、あいさつをするときは大きな声で言っています。	◎	85.3%	14.7%		◎	85%	15%
4	・子どもは、自分から進んであいさつをしています。	◎	77.9%	22.1%	↑	◎	90%	10%
5	・お客さんにあいさつをしています。	○	83.8%	16.2%		○	84%	16%
6	・子どもは、登下校の途中で出会った人にあいさつをしています。	◎	75.0%	25.0%	↑	◎	82%	18%
7	・子どもは、地域行事に参加したときに人にあいさつをしています。	○	67.6%	32.4%	↑	○	79%	21%
8	・子どもは、近所の人に進んであいさつをしています。	○	70.6%	29.4%	↑	◎	84%	16%
運動の日常化		判定	A+B	C+D	傾向	判定	A+B	C+D
1	・子どもは、からだを動かすことが好きです。	◎	92.5%	7.5%		◎	91%	9%
2	・子どもは、外で運動したり、遊んだりしています。	◎	88.1%	11.9%	↓	○	76%	24%
3	・子どもは、好き嫌いなく食事をします。	○	76.1%	31.3%		○	78%	27%
4	・子どもは、正しくはしをもち、正しいマナーで食事をしています。(新項目)	△	68.7%	31.3%		△	73%	27%
学習の様子		判定	A+B	C+D	傾向	判定	A+B	C+D
1	・子どもは、家で漢字や計算練習に取り組んでいます。	△	73.1%	26.9%	↑	○	84%	16%
2	・子どもは、宿題を忘れずにしています。	◎	92.5%	7.5%		◎	93%	7%
3	・子どもは、正しく鉛筆を使っています。(新項目)	△	80.9%	19.1%	↑	○	88%	12%
4	・子どもは、家で時間を決めて勉強をしています。(目安の時間 10分×学年)	△	61.2%	38.8%		△	60%	40%
5	・子どもは、わからないことがあったら、自分で調べたり、質問したりしています。	○	71.6%	28.4%		○	76%	24%

## (2) 結果の考察

### ア 読書の習慣化

- ・ 家庭での読書の習慣が定着していない。特に、家族で本を読む時間が確保できていない。

### イ あいさつの習慣化

- ・ あいさつについては、家庭でも向上していると捉えられている。声を出してあいさつする機会を多く持つことで、生活の態度として定着しつつある。

### ウ 運動の日常化

- ・ 外で運動したり遊ぶことについては、季節や危険生物などの要因が大きい。
- ・ はしの持ち方については、アンケートの数字よりも達成度が低く感じられる。家庭でも正しく使われていない可能性がある。

### エ 学習の様子

- ・ 宿題などの与えられた課題には大変熱心に取り組む。
- ・ 自主学習などを呼びかけることで、少しずつ自発的な学習も増えている。「自主学習ノート」などで学習の成果が残ることで、達成感を感じ、さらに、新しい学習に取り組もうとする児童も増えている。

## (3) 今後の取組

- ・ 「家読（うちどく）」などの啓発を行い、家庭と連携して読書の時間を増やす。
- ・ あいさつはしているものの声が小さいことがある。相互に響き合うあいさつが交わせるよう指導する。
- ・ はしや鉛筆の持ち方など、家庭へ正しい情報を知らせ、より多くの機会です正しい持ち方や使い方ができるよう呼びかける。
- ・ 自主学習の取組を工夫し、児童が自己選択自己決定を楽しんで、自ら学習を作り上げられるよう指導を工夫する。

### 3 児童アンケート

凡例 A:いつもしている B:だいたいしている  
C:あまりしていない D:まったくしていない

#### (1) アンケートの結果

学校評価 児童アンケート		後期		傾向	前期		
		A+B	C+D		A+B	C+D	
質問項目		A+B	C+D		A+B	C+D	
読書の習慣化	1	・私は、家でよく本を読んでいます。	68%	32%		68%	32%
	2	・私は、学習タイムの時間に読書に取り組んでいます。	91%	9%	↑	85%	15%
	3	・私は、親子で本を読むことがあります。	26%	74%		26%	74%
あいさつの習慣化	1	・「おはよう」「おやすみ」のあいさつをしています。	94%	6%		96%	4%
	2	・「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをしています。	94%	6%		91%	9%
	3	・友達や先生に「おはよう」のあいさつをしています。	97%	3%		96%	4%
	4	・あいさつをするときは大きな声で言っています。	88%	12%		82%	18%
	5	・自分から進んであいさつをしています。	91%	9%		90%	10%
	6	・お客さんにあいさつをしています。	94%	6%		90%	10%
	7	・登下校の途中で出会った人にあいさつをしています。	93%	7%		94%	6%
	8	・地域行事に参加したときに人にあいさつをしています。	85%	12%	↑	79%	21%
	9	・近所の人に進んであいさつをしています。	86%	10%		88%	12%
運動の日常化	1	・私は、からだを動かすことが好きです。	96%	3%		97%	3%
	2	・私は、外で運動したり、遊んだりしています。	84%	16%	↓	97%	3%
	3	・私は、好き嫌いなく食事をします。	74%	25%	↓	81%	19%



学校評価 児童アンケート		後期		傾向	前期		
質問項目		A+B	C+D		A+B	C+D	
学校生活や家庭生活	1	学校へ行くのが楽しいです。	97%	3%		99%	1%
	2	授業はわかりやすく楽しいです。	91%	9%		91%	9%
	3	鉛筆を正しくもつようにしています。	83%	17%		84%	16%
	4	給食を食べるのが楽しみです。	88%	12%		91%	7%
	5	はしを正しくもって食べています。	80%	17%		82%	18%
	6	忘れ物をしないで学校へ行っています。	83%	19%		85%	15%
	7	係りや当番の仕事を進んで行っています。	96%	4%		96%	4%
	8	学習タイムの時間に漢字や計算練習に取り組んでいます。	87%	13%		88%	12%
	9	わからないことがあったら進んで調べたり、聞いたりしています。	77%	23%	↓	91%	9%
	10	自分のめあてや目標に向かって努力しています。	90%	9%		94%	6%
	11	月ごとの生活目標を守るように努力しています。	93%	7%		97%	3%
	12	あぶないことをしないように安全に気をつけています。	97%	3%		93%	7%
	13	困っている人がいたらすぐに助けてあげるようにしています。	90%	9%		93%	7%
	14	友達にいじわるをしたり、いやなことを言ったりしません。	87%	13%		91%	7%
	15	交通ルールや学校の決まり（先生の言われること）をきちんと守っています。	96%	4%		96%	4%
	16	学校からもらったプリントは、忘れず家の人にわたしています。	90%	10%	↓	99%	1%
	17	朝ごはんを食べて学校へ行っています。	99%	1%		99%	1%
	18	ねる時刻を決めて、きちんと守っています。	78%	22%	↓	82%	18%
	19	宿題を忘れずにしています。	93%	7%		94%	6%
	20	家で時間を決めて勉強しています。（めやすの時間 10分×学年）	83%	17%		82%	18%
	21	自分の学級は、楽しいところです。	96%	4%		97%	3%

## (2) 結果の考察

### ア 読書の習慣化

- ・児童は本を読むことがとても好きで、図書室から本を借りたり、学級文庫を使ったりして読書に親しんでいる。各学年で設定した読書の目標を多くの児童が達成しているものの、児童間に差が大きい。アンケート結果からは家庭での読書量が少なく、読書が生活習慣として定着していない実態が見える。
- ・「朝の読書」では熱心に本を読んでいる。低学年での読み聞かせの時間も熱心に本の世界を味わっている。決められた時間の中では、しっかりと取り組んでいるものの自発的に読書に親しむ機会をうまく生かし切れていない。

### イ あいさつの習慣化

- ・あいさつの習慣が定着している。地域行事などで、あいさつできる児童も多くなり、地域の人々へのあいさつも次第に向上しつつある。

### ウ 運動の日常化

- ・子どもたちの多くは、体を動かすことが好きで戸外での活動も好んで行っている。
- ・食事の傾向については、好き嫌いが増えており、それが原因で給食時間中に食べきれない児童もいる。

### エ 学校生活や家庭生活

- ・学校へ行くのが楽しい、学級は楽しいと答えている児童がほとんどだが、そうでないという児童がある。授業のわかりやすさについても、よい傾向に向かうようにしたい。
- ・鉛筆やはしの持ち方については、児童の自己評価ほどには達成していると感じられない。
- ・わからないことがあったら進んで調べたり、聞いたりしている児童が大きく減っている。学習内容や取組方にも影響を受けているが、じっくりと調べて考える時間が

十分に取れていないとも考えられる。

- ・ 決められたことをしっかりとやり遂げようとする傾向がある。その反面、自発的に学習することには向上の余地が多い。
- ・ 就寝時刻が日々の生活で定まっていない児童がある。習い事やスポーツ少年団の活動日、あるいは、テレビ番組などの影響が考えられる。

### (3) 今後の課題

- ・ 家庭と連携しながら、自主学习などを使って家庭での読書と呼びかける。また、家読（うちどく）の啓発を時々を実施し、読書の習慣付けの大切さを家庭に働きかける。
- ・ じっくりと本に親しみ読書できる時間や時間をより多く取れるよう学校の生活時間を見直す。
- ・ 児童が相互に呼びかけ、励まし合って進める「あいさつ運動」を児童会活動を軸に展開する。
- ・ 食の大切さについて、日常的継続的な指導を行うとともに、楽しい食事の時間になるよう工夫する。
- ・ 考えたり話し合ったりしながら自分で学習に向き合う時間を十分に確保するとともに、わかりやすい授業づくりを進める。
- ・ 学級を生活の基礎として互いに高め合いながら良好な人間関係が築けるよう、全教育活動で配慮する。
- ・ 鉛筆やはしの持ち方について、学習規律の確立と併せて、家庭と連携しながら継続的な指導を行う。
- ・ 児童会活動や学校行事などで、児童のアイデアを生かし、達成感を感じさせることで自発的で積極的な姿勢を引き出す。
- ・ 生活時間が安定するよう家庭への啓発を行う。

## VI 学校評価の成果と課題

- ・ アクションプランは少しずつ児童の姿に合わせて具体目標を変更している。学習指導、生徒指導、健康・安全指導の観点から設定してきたが、十分な数値として評価を表しにくくなっていることも考えられる。学校教育目標との関連を踏まえながらも、児童が取り組みやすいよう具体的な数値目標や評価の仕組みなどについて検討が必要と考えられる。
- ・ 児童アンケートでは、後期になると児童の実態が向上しているにもかかわらず自己評価が厳しくなる傾向がある。項目について具体的な目標となる姿や評価基準を示すことなくアンケートを行っているため、取組を進めれば進めるほどそれぞれの目標が高くなり、相対的に、自己評価が下がる傾向が見られる。次年度のアンケートにおいては、各項目の具体的な評価基準を各学年ごとに設定することも考えられる。
- ・ 学校行事については、教職員での運営上の課題や内容の見直しなどを行っているものの児童や保護者などからの評価について含んでいない。時間的な制約もあるが、できるだけ児童の声を拾い上げて、より児童の主体性が学校行事に生きる仕組みを検討したい。また、学習参観時のアンケートでは、保護者も積極的に対応していただけることから、大運動会など保護者が関わるものについては保護者からのアンケートなどを得て、学校の活動への参画意識や当事者意識を高めることで、より連携を深くすることができるようになると思われる。次年度の検討課題としたい。
- ・ インターネットを使って、プライバシーや保護すべき事柄に配慮しながら学校の様子をできるだけ公開するように努めている。アクセスは年間30000件に及んでおり、家庭からは見えにくく、家庭には伝えにくい子どもの姿を伝えられるように毎日更新している。教室での姿が反映できるよう更新の仕組みを工夫したい。

学校教育目標 豊かな心とたくましい実践力をもった子どもの育成

国の施策、県の重点施策・指導の重点

黒部市民憲章・黒部市教育の方針

育てたい子ども像

よく考え工夫する子

仲良く励み合う子

元気でがんばりぬく子

重点目標

- ・自分の考えをもち、仲間と学び合う子どもの育成
- ・互いの違いやよさを認め、励まし助け合う子どもの育成
- ・体力づくりや健康な生活習慣づくりに進んで取り組む子どもの育成

知

確かな学力

- ・基礎的・基本的な知識及び技能の定着
- ・学ぶ意欲の向上
- ・言語活動の充実(表現する力の育成)
- ・学習規律、学習習慣の定着
- ・家庭学習の定着(10分×学年)
- ・読書活動の充実

徳

豊かな心

- ・「しあわせ運動」(親切、安全、挨拶、整理整頓)の推進
- ・道徳の時間の充実
- ・異学年交流活動(給食、栽培活動)
- ・言語環境の整備
- ・ボランティア活動の推進(アルミ缶、PETボトルキャップ回収等)
- ・体験活動の充実(栽培、宿泊学習、立山登山、スキー学習、花壇)

体

健やかな心と体

- ・「朝の力」(早寝早起き、朝食、朝の挨拶)の育成
- ・「みんなでチャレンジ3015」の推進
- ・前沢っ子タイム(業間活動)
- ・「健康いちばんの日」の推進(健康ノートの活用)
- ・危険回避能力の育成
- ・学校保健委員会の開催

安

安全・安心の学校

- 校内の安全体制づくり
  - ・避難訓練
  - ・防犯教室
  - ・施設設備の点検
- 地域ぐるみの安全体制づくり
  - ・防犯パトロール隊
  - ・PTA交通立番

明日もまた来たくなる学校づくり



アクションプランの取組

- action1 読書の習慣化
- action2 あいさつの習慣化
- action3 運動の日常化

連

家庭との連携・地域との連携・開かれた学校

- ・家庭学習の習慣
- ・読書(家読)のすすめ
- ・家族との触れ合い
- ・手伝い
- ・早寝早起き、朝食
- ・TV、ゲーム等の時間の約束

- ・地域活動・交流体験(カンナロードの整備、魚つかみどり、ふれあいフェスティバル、地域ぐるみ挨拶運動、前沢めぐり、エコ活動)
- ・学校支援ボランティア
- ・保小中連携

- ・学校教育活動の公開
- ・学習参観、学級懇談会
- ・学校行事
- ・学校評価
- ・学校評議員会
- ・民生児童委員との懇談会
- ・学校だより、学級だよりの発行
- ・ホームページでの情報発信
- ・PTA活動

開